

自然観察 NOW

野幌森林公園自然情報

平成26年度 NO. 8

平成27年 2月15日

北海道ボランティア・レンジャー協議会

道立自然公園

道立自然公園は、国立公園、国定公園に次ぐ北海道を代表するすぐれた自然の風景地で自然公園法に基づき北海道が制定した北海道立自然公園条例により知事が指定します。

現在、道立自然公園は野幌森林公園をはじめ厚岸、富良野・芦別、桧山、恵山、野付風連、北オホーツク、松前矢越、狩場茂津多、朱鞠内、天塩岳、斜里岳の12個所が指定されています。

野幌森林公園の現況

野幌森林公園は、昭和43年5月15日に北海道百年を記念して道立自然公園に指定されました。面積は2053haで公園区域は札幌市、江別市、北広島市にまたがり、市域別面積は札幌市95ha、江別市1842ha、北広島市116haとなっています。土地所有別面積は、国有地1609ha、公有地（道有地、市有地）311ha、私有地133haとなっています。

自然公園の保護及び利用は公園計画に基づき実施されています。

I、保護計画

公園の風致を維持するため、公園区域は特別地域と普通地域が指定されています。また特別地域は自然景観の質等に応じ、第1種特別地域、第2種特別地域、及び第3種特別地域に区分されています。

ア特別地域

*第1種特別地域

(大沢) 公園の中で最も早く開け、園地として利用されていた所で、かつてはうっそうとした原始林であった。昭和29年の洞爺丸台風で原生林相は破壊されたが現在もなお典型的な溪畔林を呈している。

(大沢口) 大沢園地に至る歩道の入り口に位置し、広葉樹の大径木がまとまって存在する天然林である。

(瑞穂池) 瑞穂池は公園内に点在する人工の溜池の内、最大のものであり池の周囲は公園を代表する針広混交の天然林で端正な景観を呈している。

(サギの森) この地区は人工林に囲まれた所であるが、アオサギの集団営巣地である所から、国設鳥獣保護区の特別保護地区に指定されており特殊景観を呈している。

*第2種特別地域

(記念施設地区) 公園の正面玄関的な個所であり百年記念塔、開拓記念館及び開拓の村などの施設が集約的に設置されており、記念塔広場からは石狩平野が一望できる。

(歩道沿線) 公園の歩道沿いの地区であり試験林、人工林、針広混交の天然林など団地的なまとまりは小さいが、さまざまな樹種林相の森林を見ることができる。

*第3種特別地域

(大沢、志文別) 公園の北側にあつて歩道大沢環状線及び志文別線沿線の第2種特別地域の後背の地区で、大部分は人工林または低蓄積の天然林で歩道から直接に望見できない。

(南野幌、トド山) 公園の南側にあつて歩道の登満別線、野幌中央線、下野幌線沿いの第2種特別地域の後背の地区並びに普通地域の隣接地で人工林や針広混交の天然林である。

イ 普通地域

公園の南側に位置し大部分が畑作や酪農が行われている私有地である。

* 特別地域内においては次の行為は知事の許可が必要です。(主な行為を抜粋し記載)

- 1 工作物を新築し改築し、又は増築すること
- 2 木竹を伐採すること
- 3 鉱物を掘採し、又は土石を採取すること
- 4 広告物の掲示及び設置、水面の埋め立て、土地の開墾、土地の形状の変更
- 5 高山植物その他これに類する植物で知事が指定するものを採取すること

* 普通地域内においては次の行為は知事に届け出が必要です。(主な届出を抜粋し記載)

- 1 知事が定める基準を超える工作物を新築し改築し又は増築すること
- 2 鉱物を掘採又は土石を採取すること
- 3 広告物の掲示及び設置、水面の埋め立て又は干拓、土地の形状変更

II 利用計画

公園施設を集団的に整備するため公園区域内に集団施設地区が指定されています。野幌森林公園の集団施設地区は、百年記念広場区、開拓の村区、休養園地区に区分され整備されています。

ア 集団施設地区

* 百年記念広場区 百年記念塔、開拓記念館、公園事務所、休憩所、公園便所、駐車場、埋蔵文化財センター等

* 開拓の村区 屋外展示場、管理棟、駐車場、公園便所、売店、馬車鉄道施設、園地等

* 休養園地区 駐車場、公園便所、園地、自然ふれあい交流館

* 特別地域又は集団施設地区においては次に掲げる行為は禁止されています。

- 1 自然公園の利用者に著しく不快の念をおこさせるような方法で、ゴミその他の汚物又は廃物を捨て放置すること
- 2 著しく悪臭を発生させ拡声機、ラジオ等により著しく騒音を発生し展望所、休憩所をほしのままに占拠し嫌悪の情を催させるような仕方で行き、その他当該道立自然公園利用者に著しく迷惑をかけること

III 単独施設

園地は大沢園地、瑞穂池等6か所、車道は正面道路等3路線、歩道は大沢線等10路線、自転車道は森林公園周遊線等5路線があり、利用者の利便向上のため、適正に維持管理されています。

参考文献「道立自然公園野幌森林公園指定書及び公園計画書」
(北海道生活環境部自然保護課発行)

観察会のご案内

* 「森の中で春をさがそう」 3月22日(日) 10:00~12:30 自然ふれあい交流館集合